

越のまほろばの里で育む、鳴鹿っ子

坂井市立鳴鹿小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

| 項目 | 回数 |
|---------------|-----------|
| 地域・学校協議会 | 3回 |
| 中学校区を単位とした協議会 | 0回 |
| 地域及び家庭への学校公開 | 6回(のべ) 6日 |

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

| | |
|-----------------|-----|
| 講師・ゲストティーチャー | 13人 |
| 授業ボランティア(含:低ボラ) | 29人 |
| 登下校支援ボランティア | 48人 |
| その他(まほろばファーム) | 25人 |

(3) 特色ある活動

| |
|-------------|
| テーマ「ふるさと教育」 |
|-------------|

「鳴鹿わくわく探検」

- 1 目的
- ・秋の鳴鹿地区を探検したり、地域の人とふれあったりすることにより、故郷の自然や歴史に親しみと愛着をもつ。
 - ・縦割りグループの活動をとおして他学年の児童への思いやりの気持ちを養い、互いに協力する態度育てる。



2 日時 10月27日(木) 10:20~12:15

3 日程 10:20 出発式(あいさつ・諸注意など)
 10:30 探検開始(6つの縦割りグループに分かれて学校を出発)
 12:15 学校着

- 4 内容
- ・縦割りグループに分かれて鳴鹿区内を探検する。グループは、24人~25人で編成しており、年間を通して活動している。
 - ・探検先については高学年が中心になって相談し、コースを決める。
 - ・探検コースには、下記ABCのいずれかの場所を入れる。この場所では、地域の方から話を聞く。
 - A 下久米田神社(継体大王や大伴金村にまつわる話...小林氏)
 - B 鳴鹿公民館(鳴鹿地区の古い学校や歴史についての話...山田氏)
 - C グリーンセンター(施設や活動、植物などの紹介...センター職員)
 - ・探検先では、観察したりスケッチしたり遊んだりする。

5 活動の様子

- ・児童は、ワークシート、地図、防犯ブザー等を持ち予定のコースに出かける。各コー

- スには、担当職員のほか安全対応ボランティアの保護者が付き添う。
- ・事後、掲示板に写真やふり返りカードを掲示し他のグループの活動の様子も知ることができるようにした。

〈探検コース例〉

- | | | |
|-----------------------|--------------------------|-------------------------|
| ① 公民館 (館長さんの話を聞く。) | → 保育園 (園の様子をスケッチする。) | → 上金屋の八幡神社 (みんなで遊ぶ。) |
| ② そば畑 (畑のスケッチをする。) | → 下久米田神社 (小林さんの話を聞く。) | → 公園 (みんなで遊ぶ。) |



グリーンセンターで
低学年・高学年が
入り交じって運動
しているところ

活動について説明するリーダー



館長さんの話 (公民館)



小林さんの話
(下久米田神社)

職員の方の説明
(グリーンセンター)

6 地域・学校協議会とのかかわり

企画段階でまほろば協議会(本校の地域・学校協議会)の方に地区探検の趣旨を説明し相談をかけた。児童が興味関心をもつような地域の自然や歴史についての話や案内をしてくださるようお願いした。当日は、下久米田神社の歴史や小学校の昔の話、グリーンセンターの施設や植物について、協議会の方やその紹介を受けた方から話を聞いた。児童は自分たちの地域について詳しく分かったことや新たに発見したことが多くあり有意義な活動となった。

成果と課題

- ・保護者ボランティアの協力を得て、どのグループも安全に地区探検ができ、異学年の交流を深めることができた。
- ・例年は、自分たちで探検するだけだった。本年は、まほろば協議会の方の協力でふるさとのよさやふるさとへの愛着心を育てる有意義な機会となった。
- ・1年生から6年生の縦割りグループで活動するため、地域の方に全学年に合わせた話をお願いすることは難しい。
- ・児童が意欲的に活動できるコースの選定や十分な時間を確保するためには一層の工夫が必要である。

